からすのパン屋さんごっこ①

きくぐみ（5歳児）

6月～7月

スタバ屋さんやたこ焼き屋さんに続いて、「パン屋さんがしたい！」と考え、お家で紙などの素材を使ってパンをつくってきた園児がいました。すると、それを見た友達は「いいね～！からすのパン屋さんみたい！」「カラスのパン屋さんしよっさ！」と、からすのパン屋さんごっこがはじまりました！

からすのパン屋さんをイメージしやすいよう、絵本をコピーして用意しました。

お店屋さんとして開店したいという園児たちの思いを受け止め、スタバ屋さんやたこ焼き屋さんみたいなお店を保育者も一緒につくり、実現できるよう、必要に応じて援助しました。

ストロー付けたら、うん！いい感じ～！

お店に、かざぐるまを付けるといいんじゃない？

僕、折り方書いてあるカードあるの知ってるよ！

どうやって折るの？折り方教えて～。

僕も作る～！みんなで作ろっさ～！

かざぐるまの棒に見立てられるよう、そっとストローを用意しました。

ここに貼ろう！お客さん、このかざぐるまの所にならぶかな～（^0^）

私はパンダパン作ろう♡

私はきのこパンにする♡

先生にも、てんぐパン作って～♡

いいよ～♡

★自立心★

“からすのパン屋さんをしたい”“たくさんのお客さんに来てほしい”という、やりたいことに向かって、どうしたら良いか考え工夫しています。その中で、自分の思いだけでなく友達の意見も聞きながら、気持ちの調整をする姿も見られるようになってきました。

からすのパン屋さんごっこ②

きくぐみ（5歳児）

6月～7月

紙などの身近な素材でパン作りをしていると、本物みたいなパンが　つくりたくなってきた子ども達。

「パンって何で出来てるの？」
小麦粉や水、塩、油を用意し、
子ども達と一緒に小麦粉粘土を
つくってみました！

小麦粉！水！
あとは…？

①ボウルに小麦粉を入れる

サラサラ～！
気持ちいい♡

②塩と油を入れて混ぜる

うわぁぁ。
油はドロドロ～。

③少しずつ水を入れて混ぜる

どうなるんだろう？
ドキドキ♡

わぁ！　気持ちいい♡
でも手にくっつく～！

保育者が水を少し
ずつ入れながら、
硬さの様子を見て
いきました。

柔らかくて
気持ちいい～♡

だんだん硬く
なってきた！

手に
くっつかない
よ～！

何だ？この感触？？
おもちみたい！

からすのパン屋さんの
イラストを用意すると…
いろんなパンづくりが始
まりましたよ～(^▽^)/

色も付けたいな～！

マーカーで
色を付けて、
できた～！！！

★豊かな感性と表現★

小麦粉を使って形をつくったことで、小麦粉の変化や柔らかさなどの感触に気付きながら、パンづくりを楽しむことができました。本物のパンの様に小麦粉の性質を生かしながら、伸ばしたりちぎったり丸めたりして、イメージしたものをつくることができました！

からすのパン屋さんごっこ③

きくぐみ（5歳児）

6月～7月

小麦粉粘土でパンをつくったら、
今度は焼いてみたくなった
きくぐみさん！

保「パンって何で焼くの？」と聞くと、
子「電子レンジ！」　「オーブン！」
　「ピザの窯！」
保「保育園に、こんなのあるよ」と
　　オーブンを用意すると
子「それ、家にもある！パン焼くの！」
保「じゃあ、オーブンで焼いてみよう！
　　どうなるかな？実験だ～！」と、
　オーブンで焼いてみることにしました！

もうすぐ「チン！」っていうよ！どんな音かな～？
静かにして～。

わあ！できた！
焼けた！

かた～い！！

熱～い！！

パンのいい匂い！！

オーブンの使い方や性能に気付くことができるように五感を働かせる言葉を掛けました。
また、小麦粉粘土のパンを焼く前と焼いた後の違いに気付くことができるよう、言葉を掛けました。

お店に並べたいな♡
お母さんに
プレゼントしたいな♡

パン屋さんではどうやって並べてあるかな？
お母さんにプレゼントすると、きっと喜ぶね～♡

どうなるかな
～？楽しみ！

これ（タイマー）
動いてる！

手を近づけると
熱い！！！

★社会生活との関わり★

小麦粉粘土で遊んでいくうちに、パン屋さんに憧れたり、家でパンを焼いてくれるお母さんみたいに自分でも焼いてみたくなったりしました。身近な人にあこがれ、やってみたいという思いが育っています！